

# 名称未設定新聞

## 口先だけじゃなかったぜ

かねてから水面下で、その発行が噂されていた新聞が、ついに「名称未設定新聞」の名を冠して、陽の目を見ることになった。見切り発車の呼び声通り、例によって例の如く、各人がばらばらに書きなぐっている状態である。そのばらばらさ加減の中にも当社独特の雰囲気が見えるような気がする、という声も当社内にはある。

発行を知った各界からの数々の激励の言葉が届いている。その励ましを糧として、力の續くかぎり、精進していく所存である。

### 今日の紙面

二面	文化面 松本巖組 みんなのうた 鳥瀬画伯の似顔絵 村上の英語小テスト
三面	スポーツ・芸術面 フリーガン、中一英語教科書に登場か? レイズ・ギャラリー 社会面・トピックス
四面	やったぜ、福留 パーティ報告 新企画

### 現時点の候補

- やすらぎ
- アウラ(AURA)
- エール(AIR)
- サッチ・ア・ラヴリー・プレイス
- ロゴス(LOGOS)
- イデア(IDEA)
- スパイラル
- レッツ学習塾、など

### 名称募集

シーアスという名称でやってきた新中野教室だが、この四月で五周年を迎えるにあたり、心機一転、今まで以上に新しい試みにチャレンジしていくことになる。これにあたり、名称も新たに募集する運びとなった。過去の実績に甘んじることなく、常に新しいものに挑んでいく姿勢の表明でもある。生徒に呼びかけて、また、講師陣で検討して、いくつかの候補が上がっているが、今回、新聞の発行を機に、より広く募集することになった。

締め切りは五月一日となっているので、奮って応募してもらいたい。採用された名称を考えてくれた人にはいったいどんな特典があるのだろうか？

応募は、下記のとこへ。

発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 名称未設定新聞本社 電話03-3382-5963 ©名称未設定新聞本社  
 シーアス・ホームページ <http://www.st.rim.or.jp/~shachio/SeaEarth/> 投書・お問い合わせのE-mail : [shachio@st.rim.or.jp](mailto:shachio@st.rim.or.jp)

塾というのは一体どんなところなのか。そんなことをときどき考える。一義的には、もちろん、勉強をするところなんだろう。だから、当然、講師の仕事は勉強を教えることであるはずなのだ。ところが、どうもそうとはかりは言えない現実がある。

「こんにはは」(kyoukon)なら「というふうな挨拶をしない。落としたゴミを拾わない。土足のまま椅子に足をのせる。こんなことでくずくず文句を言わなければならないことが、年々何度もある。本来、こういうことって、どこで覚えるべき事柄なんだろうか。少なくとも、塾で教えなければならぬようなことではない、と思っただが……」

つつい、例によって、文句から始めてしまったが、いま、書こうと思っただがそんなことではない。近年、喋りたがる生徒が増えてきた。そういう話を書こうと思っただが……

例えば、音楽のこと、学校のこと、釣りのこと、友だちのこと、勉強のこと、テレビのこと、家族のこと……などなど。昔からそういう話をしたがる生徒はいた。が、この数年そういう人口が急激に多くなってきている、という印象がある。不思議なのは、彼らは勉強が嫌いで授業を脱線させることを目論んでいるのではないようだ、ということ。寧ろ、成績や評価に対して、概して敏感に過ぎるくらいだ。にもかかわらず、喋りまくる。喋りまくらずにはいられない。この人たちはいつ

たい何を考えているのか。生徒が問題を考えている間、うろろ歩き回ったり、コンピュータをいじったり、コーヒを飲んだりする。そして、彼らが何を考えているのかを考える。

喋りたがる生徒たちには共通の印象がある。大雑把に、しかも、有り体な言葉で言えば、彼らは家庭にも学校にも居場所がないように見えるのだ。これが一つ。もう一つは、精神状態のコントロールができない瞬間が多いようだ、ということ。

結局、彼らが矢継ぎ早に喋りまくるのは、塾を、ある種の、自分の居場所・精神の開放の場、と捉えているからなのではないか、というのが現時点での私の見解である。

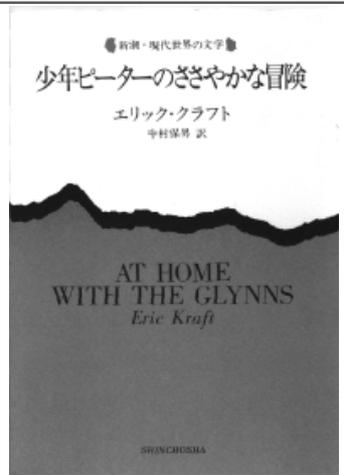
先日、たいへんたいへん勉強が苦手な女の子が、塾に関してこう語った。「怒られてばかりでもシーアスは私の安らぎの場なの」  
 おお。

これは我がが彼女の悩める魂を救済しているのだ、というような話ではない。彼女のあの一言を聞いて、救済されたのは、寧ろ、私の方なのだから。

結局のところ、この塾が何をするとこころなのかは、未だによくわからない。よくわからないけれども、明日からも、また出会いは続いてゆく。そういうものさ。

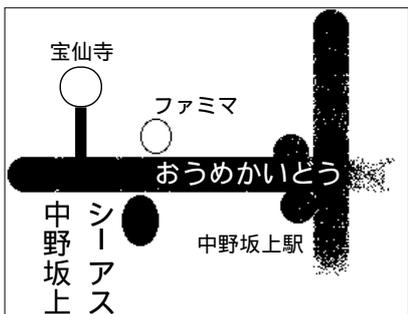
(全六)

### 全太大先生様々大推薦

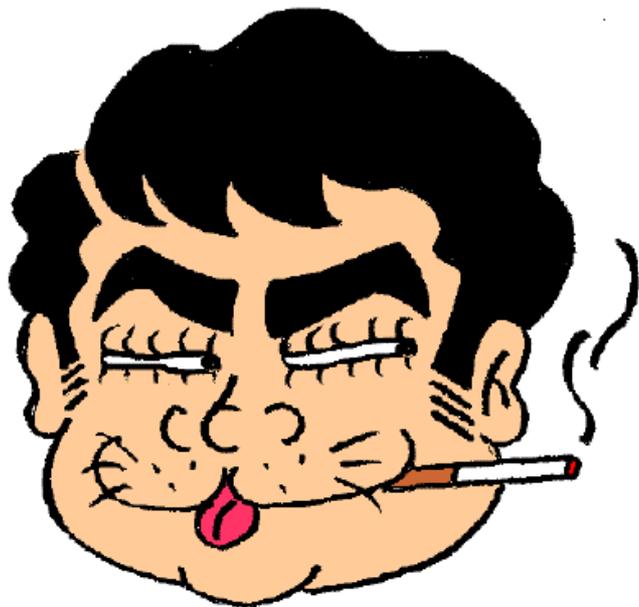


### シーアス中野坂上教室

中野区本町2-50-12 ドエル中野201号  
03-3379-1451



鳥瀬画伯の似顔絵コーナー



村上先生

シーアスの各先生方を似顔絵で紹介していきます。  
読者の中で、ぜひ自分の似顔絵を描いて欲しい方がいらっしゃれば、正面横顔を含む写真を三葉当社までお送り下さい。なお、画伯が気に入った写真は返却できません。

村上(英語科)

< ためになるかも小テストコーナー >

第1回ということなので、まずは軽く、和訳の問題など出してみました。

問1(大学受験生向け)——といっても中学生でも解けると思う。

Time flies like an arrow.

Fruit flies like a banana.

訳せなかった者は、深く反省し勉強に励むように。次回は高校受験生用も準備するつもりです。ちなみに、この時期は文法の完成を目指して頑張ってください。

年間パーフェクトの正解者は豪華なプレゼント。(そのような者が出そうな時はレベルがすごく高くなるであろう)

松本巖組 < Pinetree Stones >

金曜日に3ステージやってます。

6:40~ 高2英語(2人)

8:00~ 高3英語(2人)

9:20~ 高3英語(1人)

リズムカルでメロディアスで、ポップな路線が売りです。絶対、プロ指向です。ビートルズのような、鋭い、とがったJohnの部分と、柔らかい丸いポール部分が絶妙に溶け合ったものをやりたいです。結構、いい線、行けてると思ってます。興味を持った方は、ぜひ、連絡下さい。待ってます。

今後、活動情况も、この通信を通して伝えていく積もりでいます。何か伝わればすごくうれしいです。

それでは。

今月のみんなのうた

反抗期

詞/曲 麻生聡+山下祥子/望月 3/96

元気な子供達。水溜りを跳ね回ってる。  
笑い声届く。平和な日々につけ込む。

ママは言う、「勉強しなさい!」  
分かってる、頭では。

だって、反抗期。  
親の通りじゃ、つまらない。  
僕ひとり始まってない  
僕にできることはとても限られてるけれど、  
何ひとつ終わってはいない、さあ歩き出そう。

また日が上る、「起きなさい!」の声響く。  
あともう2分、夢のフィナーレ見せてよ。

パパ黙る。 プレッシャー。  
褒めてくれ、 たまには。

だって、反抗期。  
親の通りじゃ、つまらない。

僕にできることはとても限られてるけれど、  
何ひとつ終わってはいない、さあ歩き出そう。

行く手に待ち受ける世界はとても広いけど、  
伸ばした手の先にあるゴールめざし走り出す。

アクアネット  
Aquasnet  
Let's mind the harbour!

湊文社  
SOBUNSHA

Ken-ichi Shinozaki, architect  
5-12-3 Asagaya-Kita, Suginami-ku, Tokyo,  
Telephone & Facsimile: 81-3-3223-0456;  
e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp  
篠崎健一アトリエ

まで御掲載希望者は当社広告製作部  
連絡下さい。

10月のプラネタリウム  
白山宣之

絶賛絶版中

# ワールド・カップまであと少し

# 教科書に見る英国のサッカーファン 中 1 英語教科書に登場?

## ワールドカップ入場禁止第一号

そんな見出しが先日、新聞に載った。今年は4年に1度のサッカー、ワールドカップの年。6月にフランスで行なわれる。日本の初出場でもわが国でもそれなりに盛り上がっているようだが、ヨーロッパや南米でのサッカー熱というのは日本の比ではない。熱狂したファンは、場合によっては危険だ。けが人が出ることもある。さらにフーリガンたち。

フーリガン(hooligan)と言えば「暴力的サッカーファン(カレッジライトハウス英和辞典)。サッカーの応援と称して国外にまでも出かけて行って、試合そっちのけで地元の若者とトラブルを起こす、まことに困った人たちとして、その名を世界中にとどろかせている。

私自身イギリスで暮らしていたことがあるが、ある日パブで、負け試合に興奮した奴のまき散らすビールのシャワーを浴びたことがある。でも中には、大勢のフーリガンに占拠された地下鉄に何の因果か乗りあわせてしまった私に、缶ビールをごちそうしてくれた、そんな気のいいフーリガンもいた。結局彼の英語は全くのところ理解不能だったけれど、あのビールは、何だかともうまかった。

彼は果して試合のチケットを売ってもらえるのだろうか...。でもどっちにしろフランスへは行くんだろうな。

さて、シャンチョオ堂なる怪しげな出版社が、来春、中学生向けの英語教科書でフーリガンを取り上げるといふ。1年生用に収められるということだが、「bloody」や「the hell」などいわゆる「品の悪い」言葉があり、いくら会話重視だとはいっても、ちょっとやり過ぎではないか。確かに、どちらもイギリスにおいては若者だけでなく、国会で論戦中の議員たちまでもが平気で使う日常語であるのは事実だが、それぞれ「ひでえ」、「いってえ」ぐらいの意味なのである。場合によっては「くそつたれ」ですらある。このようなものを文部省が認可するわけではない。

ただ、しょっちゅうめ事を「進行中」のフーリガンたちだが、「現在」において日々社会と闘っている、と例文にあるのは本当のことであろう。彼らを生み出

## FEW GROWN-ups English Course by Masa Shachio

### Lesson 1 Hooligans

イギリスにはフーリガンと呼ばれる人たちがいます。どんな人たちなのでしょう。

1990 June, London

It is a beautiful day.

I walk in the park on such a day.

After a walk I am thirsty.

I go to the pub.

In the pub young people are watching a football game on TV.

They drink a lot.

They are bloody noisy.

“What the hell are you doing, hooligans?”

Oh no! You can't say that.

thirsty のどが渴いた pub 居酒屋 兼 喫茶店 bloody ひどく( bloodは血液)  
noisy うるさい the hell 一体全体( hellは地獄)

文のしくみ[現在形と現在進行形].....

What do hooligans do every day?( フーリガンたちは毎日何をしているのですか?)

They fight against the society every day.( 彼らは毎日社会と闘っています。)

What are you doing now?( あなたたちは今何をしているところですか?)

We are fighting against the Italian hooligans now.( 私たちは今、イタリアのフーリガンたちと闘っているところです。)

したのは、紛れもなくその国の社会であり、歴史であり、大人たちなのである。彼らだけを悪者にしても、何の解決にもならないだろう。

4年後、運が良ければ、我々は本物の彼らを目の当たりにすることになる。

(望 訳は次のページ)



©Asato Kamiyama

## Rei's Gallerly

自分の言いたい事を人に表現するのは非常に困難なんだと、私は絵を描いていていつも思います。でも、自分の納得できる表現で、最大限の努力をしたいという気持ちを作品にぶつけています。

マザーグースの詩を読んで私はこんな風を感じました。あなたはこの詩を読んでどんな風景が頭に浮びましたか?

Solomon Grundy,	ソロモン・グランディー
Born on a Monday,	月曜に誕生、
Christened on Tuesday,	火曜に洗礼、
Married on Wednesday,	水曜に結婚、
Took ill on Thursday,	木曜に不調、
Worse on Friday,	金曜に悪化、
Died on Saturday,	土曜に死亡、
Buried on Sunday,	日曜に埋葬、
This is the end	これにておしまい
Of Solomon Grundy.	ソロモン・グランディー。



## 中國料理

# コウ テン エン 廣天園

好吃好香

# 恒例!

## パーティ、盛況に終わる

去る三月二十一日、恒例となっている、年に一度の卒業記念パーティが開催された。ビンゴ大会あり、講師バンド(バラディ・アコースティック・ユニット)の生演奏もあり、活況を呈した。『廣天園』の出張パーティ料理で生徒たちは胃袋を満たした。

これまでは、ライブハウスを借り切って行なっていたが、今回、心機一転の名のもと、初心に帰り、教室の壁を取り払っての手作りパーティとなった。仕切るものが無くなつてみると、五年前、やはり壁の無いまま行なつた初日の授業風景が走馬灯のように蘇ってくる。そんな気持ちを講師たちは抱きつつ、生徒たちはまた違った感慨を胸に、それぞれがパーティを楽しんだようである。

りりしい紋付姿の新郎とあでやかな色打掛姿の新婚。二人に永遠の幸あれ。



パーティのあとの集合写真

撮影者 町の写真屋 鳥瀬画伯)

# 祝! 結婚!

## やったぜ、福留

長らく数学の講師をなさっていた旧姓福留晶子先生が、この度、御結婚なさいました。お二人の幸せそうな姿をご覧下さい。

この四月からは母校早稲田大学人間科学部の助手を勤めることになったそうです。

福留先生からのメッセージ

まだまだ未熟な一人ですが、力を合わせて家庭を築いていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

一九九八年四月吉日

あの、知る人ぞ知る  
**じよじ伊東**  
プロデュース公演  
未完のあんぼんたん、じよじ伊東、初脚本・演出・主演作品。タイトル・日時は次号にて発表の予定。夏を待て。  
付記・じよじ伊東とは、かつてシアスで講師をしていた謎の男である。

# これが新企画だ

其の一  
学校での勉強にとどまらず、各自が自由に興味の対象となる問題について考え、語り合う場として、勉強会(仮称)を開催する。予定されているテーマは、インターネット「自殺」これが日本だなど。参加制限は一切なし。塾生・父兄以外の参加も可能である。

其の二  
「寺小屋実験教室(仮称)公開」学年や科目の枠にとらわれた与えられる学習ではなく、自由に参加し、それぞれの能力・状況に応じて学ぶ。講師陣が補助することになる。

現状、対象となる科目は英数国で、父兄の参加も可能である。費用は未定。

其の三  
コンピュータを利用できることがこれからは学習や職業上の条件になる可能性が高まってきている。何のためにどのように利用していくかを考えていく。コンピュータのある生活「クラス」を開講。実務に、芸術に、交流に、幅広くコンピュータを利用していく予定。

これらの企画が過去から現在に渡って、企画されている。正式決定の際には、紙面で告知するが、御意見・御希望などがあればお寄せ下さい。

来たれ、参加希望者、門を叩け。

【'Hooligans'の訳】  
1990年6月、ロンドンにて  
素晴らしい日です。私はこんな日には公園を歩きます。散歩の後にはのどが渇きます。私はパブに行きます。  
パブでは若者たちがテレビでサッカーの試合を観ているところです。彼らはたくさんお酒を飲みます。彼らはひでえうるさいです。  
「てめえら、いってえ何やってやがるんだ、フーリガンども。」  
オーノー。そんなこと言っははいけません。

フーリガンについて、また現在形と進行形についてもっと詳しく知りたいという方は、望月までどうぞ。

廣天園  
新中野駅  
杉山公園  
とみん銀行

当社  
おうめかいどう

発行名称未設定新聞社  
本社見学を御希望の方は左記のところへ。  
丸ノ内線新中野駅徒歩〇分

編集後記  
新聞第0号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望・新名称案をぜひお寄せ下さい。  
次号発刊予定日は五月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。